

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

水と大地と空気そして人、すべてが共に栄えるかけがえのない地球を次の世代に美しく渡すために、地球にやさしい廃棄物処理を追求する。

経常利益率
20%以上

ROE
15%以上

② 中長期の経営戦略

1. コンプライアンス体制の強化

廃棄物処理法など環境関連法規制の遵守を経営上最重要課題と位置付け、役職員の法令遵守意識向上と体制強化を実施する。

3. 東日本最終処分場の整備

東日本エリアに管理型最終処分場2ヶ所（各150万㎡～200万㎡超）の候補地を選定し、設置許可取得に向けて環境調査実施中。

2. 新規施設展開とM&A推進

太平洋ベルト近辺に焼却施設・最終処分場の候補地を複数選定。関東方面への展開に注力し、新規廃棄物処理施設の拠点を拡大する。

4. グループ内連携の強化

持株会社体制のもと、グループ経営戦略強化とM&A推進体制を構築。グループ間の連携・情報共有を強化し、高度な廃棄物処理を追求する。

③ 対処すべき課題

① 法規制遵守の徹底

- ・廃棄物処理法をはじめとした厳しい環境法規制への対応
- ・役職員全員の法令遵守意識向上の継続的推進

② 経営環境の不確実性対応

- ・地政学リスク・原材料価格高騰・自然災害リスクへの対応
- ・一貫処理体制による事業基盤拡充と競争力強化

③ 事業成長の加速

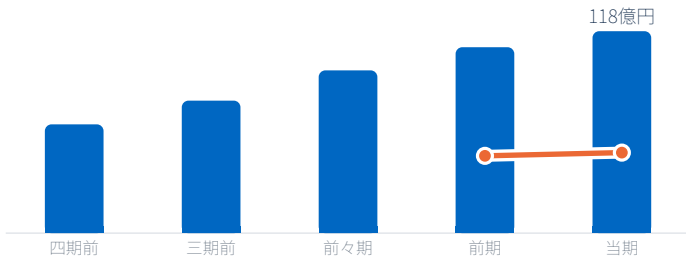
- ・ミダックグループ10年ビジョン「Challenge 80th」の実現
- ・積極的なM&A投資による成長基盤強化

面接で使えるポイント

- ・廃棄物処理のエキスパートとして1952年から築いた信頼を基盤に、持続可能な循環型社会の実現を目指す。
- ・東日本に管理型最終処分場2ヶ所を整備するなど、インフラ投資を通じて社会的役割を果たす。
- ・「Challenge 80th」ビジョン下で、M&Aと新規施設展開により関東方面を中心に事業を急速拡大する。

証券コード 6564

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
118億円営業利益率
39.9%財務健康度
70点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 46.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
594万円
サービス業内 255位/524社平均年齢
39.5歳
サービス業内 227位/527社平均勤続
6.2年
サービス業内 283位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ミダックホールディングス[6564]: 支配株主等に関する事項

要するに
廃棄物の適正処理を通じて循環型社会の確立を目指す企業集団

主力事業・セグメント

- WasteDisposal 81.1%
- WasteCollection 17.1%
- WasteBrokerage・マネ 1.2%

強み・特徴（公開データから）

- 営業利益率39.9%と高い収益性
- 財務健康度70点と財務基盤が健全
- 将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

